

平成9年度 上田女子短期大学児童文化研究所 役員

所 長 京 極 興 一
主任運営委員 関 口 信 雄
副主任運営委員 北 村 恵 子
運 営 委 員 山本 秀麿・犬飼己紀子・樽田 修
総 務 長張 和子・吉池 理恵

《編集後記》

ここに、上田女子短期大学児童文化研究所『所報』第20号をお届け致します。今号には、寄稿論文3編、ならびに第20回児童文化研究大会の報告を掲載することができました。玉稿をお寄せいただきました皆様に、心より御礼申し上げます。

さて、第20回児童文化研究大会は、昨秋の10月25日(土)に創立25周年の記念行事の一環として、一日を通して盛大に行われました。午前には4会場で行われた分科会では、それぞれ大屋幼稚園の赤地真理氏、岩村田北保育園の重田よ志美氏・臼田明美氏、山の子学園共同村の小林成美氏、穂高町教育委員会・母と子の健康教室担当の三澤知子氏ほかによる、内容の濃い素晴らしい研究発表が行われました。午後は、北野講堂にて『ごろごろにゃーん』の絵本に代表される絵本作家、長 新太先生による「絵本とユーモア」と題するインタビュー形式の講演会が行われましたが、多くの子供たちの心を魅了してやまないナンセンスユーモアの魅力の秘密の一端を、ご講演の中から読み取ることができました。講演会をあまりしないという長先生のお話に、学生も、自分が子ども時代に長さんの絵本が大好きだったという子育て中の多くのお母さんたちも、大感激の様子でした。今大会の研究発表や講演、ならびに発表要旨等をご執筆いただきました方々に、改めて御礼申し上げます。

この研究誌は、お陰様で本年度20号の節目を迎えることができましたが、研究所としても一層の充実を目指す所存ですので、今後とも児童文化研究所への変わらぬご支援をお願い申し上げます。

(編集委員：北村恵子)